



東日本大震災被災・避難状況視察と救援物資配送 死者不明者2万5千人を超える。
 (23日午後9時現在)



松島町で会った安部 宮城県議

『ボランティア動員・救援物資来ない』原発含め、防災体制の再構築が必要!!

3月11日(金)14時45分
 東北関東大地震が発生
 死者 9,811人
 行方不明者 17,541人
 避難者 約1,900ヶ所
 約25万人
 調査3月24日午後9時現在



南三陸町馬籠、海から6km奥

救援物資配送状況
 3/17大型8トン松島町
 3/19大型8トン松島町
 3/19大型15トンいわき市
 3/19大型15トン相馬市
 3/22大型8トン気仙沼市
 近日中、宮城県に配送予定



ドレスデザイナーの桃華絵里さん



水没した、石巻市釜谷地区

地震から2日後の13日夜、ガソリン40ℓ積み、宮城県に向けて車で出発しました。東名、関越道から新潟県を北上し、山形県鶴岡市に出て、山形道を仙台へ向かいました。14日午後塩竈市に到着、魚市場近くには漁船が道路に横たわっていました。松島では、宮城県議の安部孝議員と出会いました。松島は大被害で、牡蠣も全滅です。石巻市のイオン駐車場に泊まった翌朝、朝6時に水没した釜谷地区、山越えて南三陸町戸倉に行きました。避難所の道路にSOSと書かれ、街はすべて押し流され、車は潰れていました。志津川地区では高所にある場所まで津波が押し寄せ、橋は壊れ、街は全滅していました。津谷地区は海から約6km離れて津波の被害、3kmの地点では多くの家が流されていました。途中、アルル工芸社が市役所まで道案内をしてくれました。奥さんからおにぎりを二個もらいました。



街が無くなった南三陸町戸倉

気仙沼市街地では道路の両側に被災した車両が散乱。市役所には、ボランティア募集受付があり、尋ね人掲示板には大勢の人が見えていました。明日は雪との情報で静岡に帰ろうとした時、島田の同級生から電話で、救援物資を送りたい、受入先を探してほしいとの依頼がありました。早速、松島の安部県議と連絡を取り、松島町体育館に決定しました。帰りは4号線を利用し、藤枝に着いたのが16日夜でした。17日に県、市に救援物資のことを聞きました。毛布などは県の依頼で送りましたが、市民からは受付けていないとの回答。だいたい遅れて県の対策本部は17日午後設置することになりました。



最も悲惨だった南三陸町中心部

島田の運送会社に行くともモエリこと桃華絵里さんのブログで救援物資を募集し、大勢の県内外の人々が、直接運送会社に持って来てくれました。私もマグロフレークを届けました。8トン車で満載で17日夜、松島に向けて出発しました。安部県議から下着、歯ブラシ、スチロールの器など再度依頼があり、ロータリークラブ、青年会議所や企業などに依頼し、支援を取り付け、19日に発送することにしました。19日は相馬市、いわき市の青年会議所からの依頼もあり、3台の大型トラックで出発しました。次の日、松島町副町長からお礼のメールを頂きました。今度は宮城県議会議長から気仙沼に古着、ローソク、日用品などの依頼があり、古着を中心に集めることになりました。JA農協女性部と地元自治会にお願いし、大量の古着を提出していただき、22日に8トン車満載で発送し、翌日お礼の言葉を頂きました。運送会社から5台分の運賃の寄付を貰ったとの連絡が入り、来週また救援物資の配送を計画するつもりです。ぜひ、皆様からの救援物資の支援をお願いします。



両側に車の残骸、気仙沼市街地



静岡横内幼稚園のバスに一杯



モエリー社員とボランティア達



JA藤枝女性部が大量に古着提供



高洲第一自治会の救援活動



塩竈港近くの状況 塩竈市の千石線 南三陸町の津波被害 南三陸町の津波被害状況 行方不明者を探す 気仙沼市役所ボランティア受付

東日本大震災の救援物資、ご協力をお願いします。
 3月31日(木)まで災害救援物資を受付けます。
 水と一緒に島田の山岸運送の大型トラックで送ります。
 宮城県向けは今回で4便目。(宮城県議が受取ります。)



落合政経塾 4月13日(水)、5月11日(水)、6月1日(水) 参加者募集
 原則として毎月第一水曜日午後7時から政治経済の勉強会を開催しています。最初に昨年まで参議院事務局首席調査官の高塚氏が政治講演をします。女性の参加者が増えました。お互いの意見交換も楽しみです。年齢問いません。ぜひご参加ください。

落合慎悟事務所
 〒426-0031 藤枝市築地838
TEL 054-645-8100
FAX 054-645-8111
 メール s.o@thn.ne.jp
<http://www.ochiai-shingo.jp>

3月11日に起きた東日本巨大地震で被災された皆様へ心からお見舞いを申し上げます。3/13(日)～16(水)宮城県仙台市から塩釜、松島、石巻、南三陸、気仙沼まで災害状況を視察しました。宮城県議会の県議の要請で17・19・22日に緊急災害救援物資を松島町・気仙沼市に送りました。

4年間の県議活動に暖かなご指導、ご支援をいただき感謝申し上げます。平成19年4月に当選し、皆様との約束『行動が見える、実績を見せる県議』として4年間活動できたことに深く感謝申し上げます。これからも皆様のご期待に沿えるよう精一杯頑張っております。

3月10日に2月県議会が閉会しました。主には23年度予算と10か年の総合計画について審議し、議員発議の「消防団の活動に協力する事業所等を応援する県税の特例に関する条例」も決定しました。予算は前年と同規模の1兆1324億円を計上しましたが、税金は昨年と同様1,700億円余も少ないため、1,800億円余も借金を追加し、県債残高は2兆5369億円となりました。借金財政から脱出するためには、大胆な行政改革が必要です。静岡県の会計制度は総務省基準モデルであり、行政コストが見えない一括処理の単式簿記方式です。東京都と大阪府はリアルタイムで処理する発生主義・複式簿記の企業会計方式で、費用や経費の無駄が一目でわかります。東京都のソフト開発に25億円掛かりましたが、25億円で改革できるなら、私は導入し会計制度を変えるべきと考えます。皆さんはどう思いますか？
 1月末に県健康福祉部の課長から『落合県議の取り組んでいた志太榛原地区の児童相談所が藤枝市に内定した。』との連絡が入り、早速、静岡中央児童相談所の実態を現地調査しました。県議の務めは県が取組む施策を地元自治体と協働で市民のために提言や支援、是正させることにあります。志太榛原の子供たちを守るために、藤枝市の応援ができて良かったと思います。これからも志太地域の諸問題に取り組んでまいります。ご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



3月11日の地震で十数mの津波に襲われ何千人も行方不明になっている宮城県南三陸町の災害現場を視察しました。

川勝県知事報告



知事に就任して1年7か月が経ちました。現場主義を貫き、県内各地を約500回訪れました。『住んでよし、訪れてよし』『生んでよし、育ててよし』『学んでよし、働いてよし』日本の理想郷を築く!!

厳しい雇用・経済状況 地域企業対策 23年度当初予算案 組織定数の改編 TOUKAI-0の推進 浜岡原子力発電所 静岡式35人学級 藤枝特別支援学校 富士山静岡空港

介護、農林水産、観光などを中心に雇用の創出や人材育成に全庁挙げて取り組む。中小企業向けの制度融資を2千億円の融資枠を確保し、資金調達を円滑化する。国の地方対策で地方交付税等が減少。事業の重点化や効率化で財源を捻出する。県政を迅速に周知させる知事戦略局。各分野を全庁的に施策展開する地域外交局。27年度までに2万戸を目標。本年1月末で累計12,313戸。23年度1,900戸分を計上。1月24日に運転を再開を容認。耐震バックチェックへの対応や安全管理を要請した。小6、中学生に導入済み。今年度小5に拡大と小1にも導入し、低学年支援を実施する。狭隘化を解消するため、25年度の開校を目指し焼津水産高校内に分校を整備する。4～1月まで47万人、搭乗率62%。4月から運用を13時間に延長や駐機場拡張をする。

2月県議会 23年度予算一般会計1兆1324億円(伸率+0.5%) 特別会計3701億円 企業会計636億円



富士山静岡空港の21年度収支 収益322,551千円、費用1,924,224千円、損益▲1,601,673千円。富士山静岡空港の地域経済波及効果 総合効果が245億円、雇用創出効果は1653人と推計。県産材の利用 23年度から5年間に85,000m³の利用目標を設定し、公共施設・土木工事で利用。経済産業ビジョン策定 「一流のものづくり・ものづかい振興条例」の基本方針に基づき、実施計画として策定。緊急雇用・ふるさと雇用事業 23年度予算と雇用計画、県106億円4577人、市町72億円2911人。子宮頸がん等ワクチン接種緊急事業 23年度30億円、子宮頸がん・インフルエンザ菌b型・小児肺炎球菌。構造改革特区 国の地域主権推進一括法案の見直しのため全国知事会で本県が発案県として12月に提出。第二期EV・PHVタウン 電気自動車の本格普及に向けた実証実験のモデル事業で官民一体となって取り組む。富士山世界遺産登録に向けた取組 山梨県側の富士五湖の文化財指定が順調に推移し、7月に提出に全力。

厚生委員会 3/1～2

健康福祉部予算は2019億円で前年より170億円も増加しました。医療支援、生活保護、障害者支援、高齢者福祉などが毎年増えています。今後の対策として地域で見守り介護支援体制の構築が必要です。
落合委員の質問内容(一部)
 生活保護世帯の実態は 12月で19290世帯、25862人で基準額13,150円住宅扶助48,300円以下となっている。
 待機児童の内容は 1月末で1,488人、全児童は20万人で8万人の児童は家庭にいる。今後待機児童は更に増加。
 虐待児童の里親は 里親は301人登録されて、現在122人が育てている。手当ては1人7.2万円に増額された。
 介護人材の賃金は 所定内賃金は、全産業294,500円、介護員201,600円、ヘルパー1,913,000円と差がある。

報告事項の一部
 県地域福祉支援計画の改定
 県ゆずりあい駐車場事業
 県人権施策推進計画の改定
 ふじさんっこ応援キャンペーン
 富2(じ)3(さん)子応援プロジェクト
 保育所入所状況と待機児童数
 児童虐待・DVの現状と対応
 高齢者施設整備と雇用創出
 県内医師確保対策事業

5年間の計画で、目標は「一人ひとりの個性と多様な価値観を尊重し、安心と自立を支える共生社会」
 身障者用駐車場を必要の人に利用証を交付。焼津市、藤枝市が、1月20日実施。利用証交付件数は365件。
 5年間の計画で、施策体系は、幼児期、少年期・思春期、青年期から高齢期にかけての人権教育・啓発の推進。
 3月末まで、キャッチコピー『一人で育ててくれる人なんて、一人もいない』～しずおかの未来、みんなで育てよう。～
 『2人から3人は子どもを産みたい』希望を実現するため、民間、県、市が一体となって生み育てやすい環境を推進。
 1月1日現在、入所児童53,631人、待機児童1,488人、4月より1,002人増加。藤枝市は31人で4人増加。
 児童虐待相談件数4月から12月末で1,100件、一時保護347人。DV相談件数1,931件、一時保護82人。
 特養老人ホーム20施設、1,179床、新規雇用908人(高齢者施設整備合計114施設、2,927床、新規雇用2,387人)
 医学就学研修資金貸与は月額20万円継続193人、新規100人。分娩手当への助成(補助率1/3)67施設など。